

高山西ロータリークラブ 創立1966年1月15日

例会報告 Rotary



第2781回例会
令和7年6月6日

- 例会日 毎週金曜日 12:30~13:30
- 例会場 高山市花里町3-33-3 TEL 34-3988
大垣共立銀行高山支店 4F
- 会長 米澤 久二
- 幹事 田中 晶洋
- 会報委員長 阪下 六代

ロータリーの
マジック
お祝い・クラブアッセンブリー

<会長の時間>

「長期の組織支配」と不正融資
第三者委員会の調査報告書に「我が国の金融機関の歴史をみても類例をみないほどに悪質」と指摘されたいわき信用組合についてお話ししたいと思います。

不正融資は江尻次郎元会長をはじめとした役職員が実行しています。元会長江尻氏は2004年に理事長に就任、以来20年を超える長い間組合トップにいました。江尻氏に人事権を握られていたので、他の役職員は役職を失うのを恐れ江尻氏に従わざるを得なかったそうです。他の役職員も不正融資等に積極的に関与し、一部の職員が不正に携わり、まさに組織ぐるみで不正が行われたそうです。また一部の役員によるパワハラが常態化し、不正に関する指示でも従うという職員のゆがめられた「真面目さ」がうかがえたそうです。このように組織ぐるみで不正融資を行った根本は組織のトップが20年に亘り人事や権力を握り組織支配していたことだと思います。どの世界でも長期に組織のトップにいるといろんな弊害がでて組織が崩壊すると思えます。

ひるがえってRCをみてみますと役員が1年交代である、と言うことです。入会してしばらくして、さすがアメリカ的だなと思った記憶があります。新鮮でした。短期で交代するメリットとして、より多くの会員がリーダーシップの機会を得られ、クラブの運営に新しい視点やアイデアを取り入れることが出来ると思えます。役職が人を作るという言葉があります。多くの会員にあらゆる機会を広く提供できる組織でありたいと願います。



<本日のプログラム>

お祝い

- ◎ 会員誕生日
なし
- ◎ 配偶者誕生日 (当日、ご自宅へ花束をお届け)
下屋 勝比古 ひとみさん 6.20
新井 典仁 由美さん 6.1

◎結婚記念日

塚本 直人
H13.6.29

◎在籍周年記念表彰

なし

◎出席表彰

なし

◎3ヶ月表彰

・挟土 貞吉 ・阪下 六代 ・内田 幸洋 ・門前 庄次郎



<幹事報告>

◎RI日本事務局より

5月のロータリーレート
1ドル 144円
(4月 142円)

<受贈誌>

- ・高山市生涯学習課より
「高山市少年の主張コンクール」開催ご案内
- ・高山中央RCより 5月会報
- ・高山RCより 5月会報
- ・下呂RCより 5月会報



<出席報告>

出席	Make-Up	出席者数	会員数	出席率
27名	-	27名	38名	77.14%

<ロータリーの友>の紹介

会報・雑誌：広報委員長
阪下 六代

今年度のロータリーの友の記事紹介は今回が最後です。今月号は横組み8頁以下が特集「TheRotarySongs」となっております。先ず、「例会での合唱の始まり」次いで「解散の危機を乗り越える例会でのソング」という記事、続いて「日本にも独特のロータリーソングを」として1935年の地区大会のプログラムに「奉仕の理想」と「我等の生業」が載っていたとあります。その後、戦後の新日本にふさわしく、もっとくだけた柔らかいものがほしいということで、1952年に「手に手つないで」、次いで「それでこそロータリー」が作られました。次に、全国のクラブから投稿された独自のロータリーソングが9クラブについて紹介されております。(本日の例会の冒頭に「ともに歩まん」を唱和しましたが、これは2008.2009の私が会長の年度に当クラブ誕生したソングで、作詞が私で、作曲が吉田真一さんです。)縦組みの17頁の「友愛の広場」中に、「例会を茶室に見立てて」と題する会員の投稿があり例会をこのように見立てて考えるのも良いことだと思わされました。最後に「ロータリーの友」は世界そして全国のロータリーを知る唯一の術です。どうかじっくり眼をお通しください。この一年間お付き合いいただきありがとうございました。



例会報告

クラブアッセンブリー

S. A. A 垣内 秀文

今年度、米澤・田中（晶）丸が瀬風満帆に航いただけよう、SAA としましてはズキズキ・ワクワクしながら例会運営をしてきましたつもりです。思えば年初にも申し上げましたが、メンバーには真面目で出席率の高い方を選出させていただきました事が大変ありがたかったです。米澤会長が申されていますように「何か新しいことに取り組んでほしい」を汲みまして、実行したことは会場レイアウトをほんの少しですが変えました、クラブ運営を共にしていく事を、鑑福会長席を会長幹事席の隣に設けました。また会員席は自由席のはずが、ここ数年指定席みたいになっていましたので、会員相互の親睦を図るため例会座席シャッフル DAY を実施しました。また月間テーマを意識していただくためにポスターを貼り出しており、因みに今月は『ロータリー親睦月間』であります、みなさんどうぞ意識してご活動をお願いします、あと 7/5 年度初回はノンアルワインで乾杯セレモニーを行い、8/2 担当例会おきまして杯の拙い SAA 小説をお付き合い頂きました。

反省点としては、年度数回必ずあるとされている『鐘の出し忘れ』『作成したはずの月間テーマポスターの持ち忘れ』等々ありましたが、皆様のお蔭をもちまして、なんとか大きなミスなく今年度を締め括ることができそうです。本日を含めてあと 3 回の例会が残っていますが、皆さまどうか引き続きよろしくお願いたします

クラブ運営管理部門長
塚本 直人

毎月例会の役割担当表を前月末までに事務局に提出し会員に配布しました。今年度は LINE での役割確認がしっかりできていて、とても助かりました。役割変更も前日までに完了していることが多く例会運営はスムーズにでき、次年度以降も引き続きこのような体制で運営していただけたら良いと思います。クラブ運営管理部門は会報・雑誌・広報委員会の阪下委員長、親睦活動委員会の田邊委員長、ニコニコ委員会は中島委員長が期中に異動されたため堺副委員長、出席プログラム委員会は野尻委員長という体制で運営を行っていただきました。親睦活動委員会の犬山鶴飼いが台風の悪天候のため、中止となりましたが、春の新緑例会に予算を増やすことで、金沢でのコマツ工場見学、金沢散策は楽しい行事となりました。各委員長の尽力のおかげで無事に委員会、クラブ運営が行われました。各委員長、委員のみなさま、ありがとうございます。



会報・雑誌：広報委員長
阪下 六代

ホームページや Facebook へクラブ活動を定期的に掲載し、当クラブの活動を地域の方に閲覧していただく環境を作る。「ロータリーの友」の注目記事を紹介し、クラブ内に情報共有と活性化を図る。以上の基本的方針に沿って活動をしてまいりました。



ニコニコ委員会副委員長
堺 和信

委員長の中島さんが 9 月に退会されたため、副委員長の私が引継ぎをました。

基本方針は「クラブ目標のズキズキ、ワクワクを感じられるように、会員相互の好意と友情を深めるために、日常生活で嬉しかったこと、心に響いたことを例会で披露することにより、喜びを共有し活力をもらし、明るくポジティブで、ワクワクな雰囲気を作り出す」という中島さんの方針でした。本年度のニコニコ目標金額を 100 万円としていましたが、皆さんズキズキ、ワクワクを感じられることがあまりなかったようで、個人のニコニコが少なくその金額には程遠いのですが、毎例会相乗りテーマにたくさんの方にご協力をいただき現在 72 万円となっています。12 月 13 日の担当例会では、会長・幹事さんと相談し IM 慰労会兼忘年例会を開催しました。クリスマス例会は例年行っていましたが、私の記憶では、忘年例会は初めてではなかったかと思います。残り 2 回例会がございますので、絶大なる皆様のご協力をお願いいたします。



会員増強部門長 大村 貴之

基本方針を「会員の研修機会を増やすとともに『会員満足と会員維持』に努める。」、部門として研修会の機会を設けることはできませんでしたが、会員が入会時にロータリーのことや当クラブのことを説明するなど、会員の協力で取り組むことが出来ました。当クラブとして来季から非営利団体の会員に対し会費の見直しがされ、1 名の入会も決まっています。今後、様々な団体・企業の会員を増やすとともに他分野における親睦交流が活発なクラブになっていくことを期待します。一年間、ありがとうございました。



例会報告

会員増強委員長 高井 道子

基本方針に沿って純増 1 名を目指しましたが、今年度は、2 名の方が入会されました。現在の時点で来年度 1 名の方の入会も決待っています。3 年後 1 名の入会の子約もいただいでいて、今年度増強委員会のメンバーさんたちのおかげで成果を上げることができました。具体的計画では、担当例会に、女性の入会を推進するための環境づくりとして D.E.I (多様化・公平性・包摂性) について中央ロータリークラブの女性会員さんにハラスメントについて、県の出前講座として司法書士の方に講話をしていただき理解を深めることができましたと思います。また、入会のネックとなっている問題に(役職、会費、例会等) 理事会が真剣に取り組んでくださり、入会しやすい体制になったこともこれからの多様な方たちの参加を勧めることができますと思います。残念ながら、退会された会員さんへの声掛けは、できませんでしたし、衛星クラブ(子クラブ)についての検討もできませんでした。来年度は、ぜひ衛星クラブについて検討して下さることを祈っています。尚、私は、特定非営利活動法人という非営利団体所属ですので、今回の会費の処遇には大変感謝しています。これから、より一層非営利団体の方たちに入会を働きかけていきたいと思っています。一年間ご協力ありがとうございました。



・であい塾について_塾代表者 (5月30日)

2. テーマ選定の意義

引きこもりという複雑で繊細なテーマを選択することで、社会の見えにくい課題に光を当てることを目指しました。会長の助言と、各方面の専門家の協力により、深い洞察を得ることができました。

3. 講話の主な内容

個々の状況に寄り添う支援の本質的な意味を探求

- ・にじ教室：教育的アプローチと社会的支援の重要性
- ・であい塾：引きこもり支援の革新的な方法論

4. 個人的な学び

「引きこもり」という社会課題への理解を深める貴重な経験をいただきました。今後の活動に向けて、テーマの選択も含めより効果的な運営体制の重要性を認識しました。

職業分類・選考委員長

田近 毅

選考・職業分類を理事会に報告した。

熊谷 高志さん

村口 拓也さん

・周 光大さん(入会)

見山 政克さん 7月より入会。

一戸 泰弘さん 未定

担当例会

岡田ガバナー補佐のアシスタント をして頂いた鴻野会員に良かった事、大変だった事、勉強になった事等を話して頂きました。



社会奉仕委員長

堀 幸一郎

本年度の社会奉仕委員会は、現代社会の喫緊の課題である「引きこもり」をテーマに、卓話を通じた深い洞察や社会的課題への理解を深める貴重な機会を得ました。活動の主な柱は以下の通りです

1. 専門家による卓話

引きこもり支援の最前線について 包括的な理解を深める

- ・にじ色教室について_宮中学校長 (11月22日)
- ・デンバー訪問報告について_高山・デンバー友好協会会長 (3月28日)



ロータリー財団委員長

長瀬 達三

本年度の当委員会の基本方針は、「ロータリー財団の活動をより深く知ってもらい、寄付金が前年度を上回るよう広報する」です。本年度の活動実績ですが、当委員会は事業を行いませんので目立った活動はございませんが、7月26日に第1

回ロータリー財団研修セミナーに参加して参りました。また、10月20日には四日市で補助金管理に関する第2回財団研修セミナーに参加し、続けてポリオ根絶ミーティングにも参加して参りました。ポリオ根絶ミーティングでは、感染症関連の第一人者である尾身茂先生の講演もお聞きすることができました。これをきっかけに、11月29日の当委員会担当例会ではポリオ根絶活動に関する卓話をお願いしたいと思い、ポリオ根絶ミーティングで登壇していたロータリアンの方をお招きしようかと思いましたが、費用は一桁万円では到底収まらないとのことで、あきらめざるを得ませんでした。そこで、地区委員としてポリオ募金活動等にも参加されていた中央ロータリークラブの前越さんをお招きし、卓話をお願いいたしました。基本方針で掲げた、積極的な広報活動ができず、前年度の寄付額を上回ることはできませんでしたので、私が委員長として責任をもって寄付をおこない、前年度寄付額を上回るよういたします。今後、委員長が寄付をしていくという慣例ができることを期待しています(笑)。



例会報告

<ニコニコボックス>

●米澤 久二さん・田中 晶洋さん

今年度もあと1ヶ月となりました。
本日は13日は最右後のクラブアッセンブリーです。
委員長の皆さま 報告を宜しくお願ひ致します。

●岡田 賛三さん・挾土 貞吉さん・堺 和信さん 垣内 秀文さん・井口 大輔さん・川瀬 裕之さん

Mr. プロ野球【巨人軍は永久に不滅です】という名言の
長嶋茂雄さんが逝去されました。故人の引退時 僕はまだ
生まれていませんがプロ野球の星から来たヒーローは長
嶋 茂雄さんから大谷 翔平さんにしっかり引き継がれ
2025年も頑張ってくれています。
毎日のスポーツニュースが楽しみです。
長嶋 茂雄さんのご冥福を心よりお祈りいたします。

